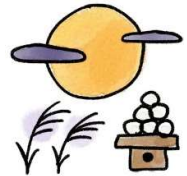


こなほんしってる？

2022 No.1104

9月号



だざいふしみんとしょかん・すくすく号 ☎921-4646 Fax921-4896
太宰府市民図書館ホームページアドレス <http://www.library.dazaifu.fukuoka.jp/>

《ティーンズから》

※【 】内の記号は分類番号です。読みたい本が見つからないときは、カウンターの人にきいてね。リクエスト（予約）もできます。

☆今月のおすすめ! ☆

♣ 小梅の七つのお祝いに

愛川 美也/著 講談社 【Nアイ】

お姉ちゃんの受験や、おばあちゃんの入院で、小梅の七五三は「おちついてから」することになっていました。夏休みの旅行やバーベキューも同じです。ゆううつな気分でいつも遊んでいる神社に行ってみると、突然目の前に黒い牛があらわれました。びっくりした小梅でしたが、なんだか気になって黒牛のあとをついていくと……。 (絵)

♣ 漢字が日本語になるまで

円満字 二郎/著 筑摩書房 【Y811】

「飛び箱」と「跳び箱」正しいのはどっち？ 漢字には読み方が複数あったり、読みは同じでも字が違ったり、覚えるのも使うのもたいへんです。中国語を書き表すためのものだった漢字を、日本語として使えるようにするにはさまざまな工夫があったのです。(基)

♣ 寝るのが楽しくなる睡眠のひみつ

ヴィッキー・ウッドゲート/文と絵

山崎 正浩/訳 創元社 【491】

人はどうして寝るのか？ 寝ているあいだの体はどうなっているのか？ どうして夢をみるのか？ 眠りについて詳しくなれて、毎日布団に入るのがきっと待ち遠しくなるはず。(有)

♣ 病院図書館の青と空

令文 ヒロ子/著 講談社 【Nレイ】

本を読むのが大好きな小学5年生の空花は、転校先のクラスになじめないまま、急性腎炎で入院することになってしまいました。ある日、病院で「長くつ下のピッピ」を開いて見ていると、どこからか甘いにおいがしてきて……。気がつくと本の中に入っていたのです。(紀)

♣ 海をわたる動物園

いちかわ けいこ/作 村田 夏佳/絵 アリス館 【Nイチ】

戦争で空っぽになった動物園に、再び動物をむかえ入れるためアフリカから動物を船で運んだ日本人たちの物語。その船に偶然乗り合わせた大学生は、航海のあいだ飼育員をすることになりました。約二ヶ月アフリカから日本まで無事にたどりつけるのでしょうか。(秋)

♣ はじめて読む！海外文学ブックガイド

越前 敏弥/[ほか] 著 河出書房新社 【Y902】

みなさんは海外文学を読んだことはありますか？ なんだかとっつきにくそう・・・と敬遠する人もいるかもしれません。この本は、海外文学を日本の読者に紹介すべく、日々格闘している翻訳家のみなさんが、選りすぐりの48作品を紹介しています。文化や常識、価値観の違いなども楽しめる海外文学を読んでみませんか。(英)

♣ 食品ロスはなぜ減らないの？

小林 富雄/著 岩波書店 【Y611】

まだ食べられるのに捨てられてしまう食べもののことを、日本では「食品ロス」といいます。家庭では食べ残し、スーパーなどでは売れ残ったもの。さらには規格外で出荷できないもの。資源や環境問題でもあり、世界共通の課題です。解決に向けて一人ひとりが「食品ロス」を減らす工夫にチャレンジする方法を学んでみましょう。(い)

☆他にも あるよ! ☆

♣ リメイク!

あさだ りん/作 いつか/絵 フレーベル館 【Nアサ】

♣ 「みんな違ってみんないい」のか？

山口 裕之/著 筑摩書房 (ちくまプリマー新書) 【Y104】

♣ 今から身につける「投資の心得」

八木 陽子/監修 えほんの社 【338】

♣ ハッピー・クローバー!

高田 由紀子/作 ゆうこ/絵 あかね書房 【Nタカ】